

修了式の話

今日は長かった学校の1年、4月から始まって3月に終わる令和3年度の締めくくりの日です。感染症対策で3日間学校が特別お休みになりましたから、多い人で203日、学校に来て頑張ったことになります。今日は学校に行きたくないなと思ったこともあったでしょうから、よく頑張りましたね。素晴らしいです。

その結果、みんなは明日、通知表の後ろにある「修了証書」を頂いて、4月から1つ上の学年で学習できるようになります。修了とは終わりの「終了」ではなく、今の学年の学習すべきことを身につけたという意味の「修了」なのです。学年が自然に上がっていくわけではないのですね。

ところで、世界の国々は4月から学校の1年が始まる国ばかりではありません。アメリカ合衆国やヨーロッパの国々は9月から学校が始まりますし、お隣の韓国は3月の今が学校の始まりだそうです。4月始まりは日本くらいなのですね。

みんなは、4月が新しい学年のスタートになりますから、春休み中にしなければならぬことがあります。人間は忘れる生き物ですから、新しい学年のスタートがきちんと切れるように今の学年の学習をきちんと身につけ直さなければなりません。宿題が結構ある学年や学級もあるでしょうが、自分で「苦手だな」とか「なんだか良く分からないんだよなあ」というところを進んで勉強しなければなりません。家族に「勉強しなさい。」と言わずに「勉強ばかりして、あんまり無理しないでね。」などと言わせて下さい。毎日続けてコツコツやり続けることも、みんなが身につけなければならない事なんです。

最後に、今日は担任の先生との1年間の締めくくりでもありますから、1年間ご指導していただいた感謝の気持ちを自分の言葉で一人一人伝えるようにしましょう。「ありがとうございました。」の言葉に何かをつけて担任の先生に伝えて下さい。

心を伝えるのが言葉の役割です。4月6日（水）新しい学年の新しい学期に元気なみんなと会えるのを楽しみにしています。



令和4年3月22日

田村市立船引小学校長 安生 昌弘